

合い言葉は、“おうちで暮らそう！”

地域包括ケア病棟に入られる方へ



地域包括ケア病棟とは

急性期医療から在宅※療養までを結び「要」として、2014年4月の診療報酬改定で創設されました。大きく分けて4つの機能があります（イメージ図参照）。

※自宅と居住系介護施設などの総称

＜イメージ図＞ 地域包括ケア病棟の4つの機能



受入機能

- 1 高度急性期や急性期からの受け入れ**
→ 高度な医療を提供する病院や病棟での急性期治療を終えた方の受け入れ
- 2 在宅・施設からの緊急時の受け入れ**
→ 自宅や施設で療養中の方の緊急時の受け入れ

- 3 ①②のケース以外の受け入れ**
→ ①②のケース以外に、地域包括ケア病棟で受け入れが可能な疾患の方※
※当院では、短期滞在の手術、化学療法や緩和ケア、糖尿病教育入院、軽症の緊急入院などが対象です。

退院支援機能

- 4 在宅・生活復帰のための支援 ※詳細は裏面参照**
 - (1) おうちで暮らす気持ちの準備と、必要な心身機能の回復
→ ①②③で受け入れた方に対して、必要な治療、リハビリや口腔ケア、栄養管理、認知症ケア、お薬の調整など、院内の多職種が協働で実施します。 **院内多職種協働**
 - (2) 必要な在宅サービスなどを受けるためのケアプランの立案
→ ①②③で受け入れた方に、ケアマネジャーや医療ソーシャルワーカーが中心となり、在宅での生活を見据えたサービス提供の準備を行います。 **地域内多職種協働**

★ (1)(2)を通して
★ おうちで暮らす
★ 安心感をつくります。

地域内の「かかりつけの先生」と連携し、退院後の暮らしをささえます。

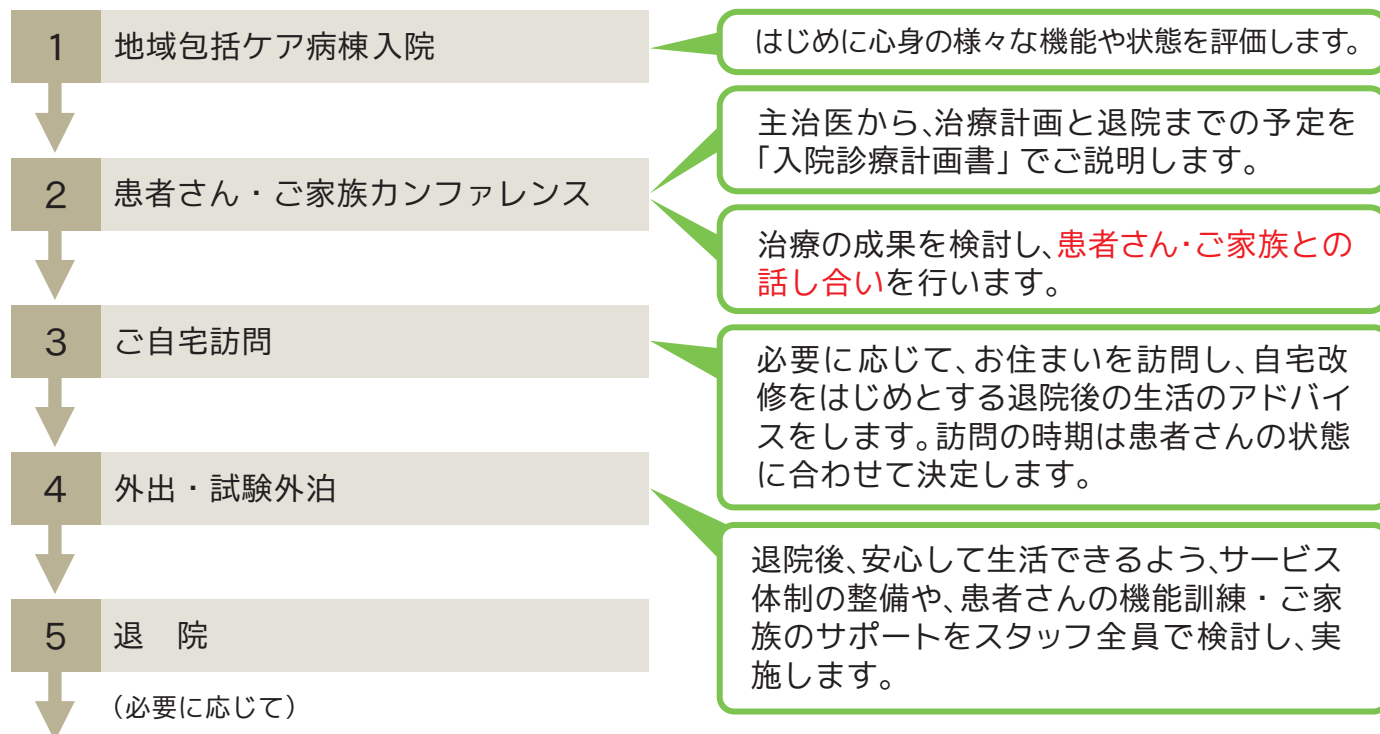


当院の病棟と病床機能

当院はDPC対象病院です。

病棟階	病床機能・入院料等		病床数(183床)
7階	急性期	急性期一般入院料1	16床
6階	慢性期	障害者施設等入院基本料 10対1	30床
4階	急性期	急性期一般入院料1	35床
3階	急性期	地域包括ケア病棟入院料1	45床
2階	高度急性期	急性期一般入院料1	15床
B1階	回復期	回復期リハビリテーション病棟入院料3 (※一部、地域包括ケア入院医療管理料1)	42床 (※うち24床)

当院の地域包括ケア病棟での流れ



6 医療・介護・福祉・生活支援サービスの活用

在宅生活で医療や介護のサポートが必要になった時は、次のような職種が在宅サービスを提供します。

【訪問系のサービス】

- 訪問診療（医師）
- 訪問看護（看護師）
- 訪問介護（介護福祉士）
- 訪問リハ（理学療法士・作業療法士）
- 訪問歯科（歯科医師）
- 訪問栄養指導（管理栄養士）
- 訪問薬剤管理指導（薬剤師）



【通所系のサービス】

- 通所介護（介護福祉士）
- 通所リハ（理学療法士・作業療法士）

【居住系のサービス】

- 住宅型有料老人ホーム
- 高齢者対応型賃貸住宅
- サービス付き高齢者向け住宅

【その他】

- 居宅介護支援（ケアマネジャー）
- 住宅改修
- 福祉用具貸与
- 福祉用具販売
- 老人クラブ
- 自治会
- ボランティア
- NPO など

※ご紹介するものは一例です。ほうじゅグループで提供できるサービスもございます。

サービスを受けるための手続きは、「医療ソーシャルワーカー」や「ケアマネジャー」にご相談ください。



患者さん・ご家族の方へのお願い

入院時に、「入院診療計画書」で医師が入院期間*をご説明します。計画書に基づいて、多職種も退院支援を行いますので、入院期間を目安に、退院に向けたご準備をお願いします。

また、入院生活や退院後の生活などについて、心配や不安な点がありましたら、何なりと病棟スタッフにご相談ください。

※地域包括ケア病棟の入院期間は最長で60日間です。60日を超える入院が予想される場合には、院内の他病棟もしくは、他院・他施設に移っていただくことがあります。

玄関に
スロープが
ついたのね！

